

新国立劇場ニュース
報道関係者各位
(全3枚送付)

2026年4月10日
公益財団法人新国立劇場運営財団

新国立劇場バレエ団が第26回英国舞踊批評家協会賞 (National Dance Awards) にノミネートされました

新国立劇場バレエ団が、第26回英国舞踊批評家協会賞(National Dance Awards)の「Stef Stefanou Award for Outstanding Company(最優秀カンパニー賞)」にノミネートされました。

英国舞踊批評家協会賞はイギリスで最も権威ある舞踊賞の一つで、2000年以来、英国批評家協会(Critics' Circle)の舞踊部門によって毎年開催されています。同賞は、60名以上のダンスライターや批評家が集まる同部門によって授与されるもので、英国の専門舞踊批評家団体が主催する唯一の賞です。

2025年度は、計379の団体や振付家、ダンサー、クリエイティブ・アーティスト(前年の365件から増加)が選考対象となり、その中から最終候補が絞り込まれました。

今回は海外からの来英カンパニーに対して計10件のノミネートがあり、2025年7月にロイヤル・オペラ・ハウスで『ジゼル』を上演した新国立劇場バレエ団も、その一つとして名を連ねました。

『ジゼル』ロンドン公演は上演後、国際的主要紙をはじめとする多くのメディアが公演評を掲載し、5つ星を含む高評価を獲得。The New York TimesやThe Daily Telegraphでも2025年のベスト・パフォーマンスに選出されるなど、高い評価を受けました。

最終選考結果は、2026年6月15日、ロンドンのコロネット劇場で開催される授賞式で発表されます。



2025年7月『ジゼル』ロンドン公演 Photo by Tristram Kenton

【お問い合わせ】メールアドレス: press@nntt.jac.go.jp

舞踊広報: 清水 (TEL:03-5352-5735)

広報室: 高橋、辻、遠藤 (TEL:03-5352-5781 / FAX:03-5352-5709) | / 3



米沢唯・井澤駿 Photo by Tristram Kenton



小野絢子・福岡雄大 Photo by Foteini Christofilopoulou



柴山紗帆・速水渉悟 Photo by Foteini Christofilopoulou



木村優里・渡邊峻郁 Photo by Andrej Uspenski

■ 新国立劇場バレエ団

新国立劇場バレエ団は、新しい舞台芸術の拠点として開場した劇場とともに、島田廣初代芸術監督のもと、1997年に発足しました。レパートリーは古典をはじめ、20世紀の名作から現代振付家の作品、新国立劇場オリジナル作品まで多岐に渡ります。

2020/2021シーズンからは、英国で長年プリンシパル・ダンサーとして活躍してきた吉田都がリーダーシップを取り、本拠地の新国立劇場をはじめ全国で毎シーズン約75公演を実施しています。2025年7月には『ジゼル』を英国ロイヤルオペラハウスで上演。「技術的にも芸術的にも世界の主要バレエ団と肩を並べる実力を持っていることを示した」と現地主要メディアから5つ星評価を獲得するなど、高い関心と評価を得ました。新国立劇場バレエ団は日本を代表するバレエカンパニーとしてバレエの普及に努め、さらに進歩し続けています。



©Yumiko Inoue

【お問い合わせ】メールアドレス: press@nntt.jac.go.jp

舞踊広報: 清水 (TEL:03-5352-5735)

広報室: 高橋、辻、遠藤 (TEL:03-5352-5781 / FAX:03-5352-5709) 2 / 3

■ 舞踊芸術監督 吉田都

9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエへプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。

01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞、24年より日本芸術院会員。20年9月より新国立劇場舞踊芸術監督。

